

2021年4月10日発行

Vol.89

ろんど

長崎県音楽連盟事務局

〒850-0056 長崎市恵美須町4-5

NBC第3ビル2F

Tel&Fax 095-820-1081

ホームページアドレス <http://www.n-rond.jp>メールアドレス nma@onyx.dti.ne.jp

新年度を迎えて～近況報告と音楽連盟への期待～

会員の皆さま、支援をいただいている団体、個人の皆さま新型コロナに翻弄された令和2年度がおわり新年度が始まりましたが如何お過ごしでしょうか？ 小生は65歳の定年を迎え、一旦長崎大学を退職致しましたが再雇用で長崎大学の教授として、感染症共同研究拠点の教授として、いたって元気で意気軒昂にしております。

ただ、一部の方はご存知かと思いますが、年末に89歳の母が老人施設でコロナを貰っているの気づかず正月1週間を我が家で一緒に過ごし、例年通りの正月を過ごしたつもりが、正月明けから家内共々感染し、母が先に、次いで私が大学病院のお世話になりました。家内は幸いにも不顕性感染で発症はせず、自宅待機ですみ、母と小生は入院治療になりましたが大学病院スタッフの尽力で無事退院できました。

ただ新型コロナウイルスがこれまで（少なくとも内科医として）経験したウイルスとは随分違うものだというのを身をもって感じました。感染後1週間くらいは特に無症状で、その後、背後に忍び寄り病魔という印象で3日1℃くらいの体温上昇はゆっくりだが確実に上がり続け、反比例するように血中の酸素飽和度はゆっくりと時間をかけて下降しました。ここで治療開始となり、ことなきを得ました。感染症共同研究拠点の安田二郎教授の研究に協力する形でウイルス量を唾液の検体で毎日測定していただきました。入院時の無症状の時に最大の高いピークがありその後順調に低下し、検出限界ギリギリになったあたりで発熱、咳がでて発症。胸部X線異常陰影もあり胸部CTでも肺炎像が出現しました。ウイルスそのものが悪さをするのではなく、ウイルス感染に対する（免疫）反応が肺炎を作っているのだと思われました。残念ながら2ヶ月以上経過した現在でも嗅覚はほとんど消失状態です。100年前のスペイン風邪流行の時もマスクと手洗いの徹底が奏功したと言われていまして何が進歩したのか！？とも思われますが、

これまでの感染者への聞き取り調査では「バス、電車、飛行機の中ではうつっていない」ことはかなり明確になっているようです。「接待をとまなう飲食」に始まって「多人数での会食」を含めて感染の機会の増加につながるものがエビデンスをもって明確化できてきました。病院、老人施設などでの感染も警戒すべきでしょう。

逆説的に言うとこれらの点を気をつければ、案外社会生活も可能となると思います。

私が関係している長崎大学の核兵器廃絶研究センターは例年、年に5回の講演会を行っています。ほぼオンライン配信と実参加の両方でやり、従来は参加の難しかった離島や県北、さらには県外、まれには海外からの参加で結局、例年より多くの参加者を獲得しました。

ポスト新型コロナの世界はどうなるのか！？元に戻るのではなく、新しい方法、新しい暮らし方、新しい常識が生まれ、定着する世界になるのだと思います。講演会、大学の講義、会議もオンラインと実参加の両方併用、出張はオンラインの効果で半減できると思います。

そうは言っても音楽の世界は厳しくて、そう簡単にはいかないのではないかと反論が聞こえてきそうです。しかし既に病院のロビーコンサートは医療法人春回会でロビーコンサートに代えて院内放送を使った遠隔コンサートをやりました。もちろん音質は全く敵わないのですが、大事なことはこれまでは重症でロビーまでは来れない患者さんが部屋で聞けた、ということです。パンデミックを逆手に取った新展開の序章と考えては如何でしょうか。そう考えるとコロナが与えている試練が新しい流れの方向性を教えてくれているチャンスかもしれない、と思うこの頃です。

これにワクチンが加われば、本当に新しい世界を見通せるかもしれない、そう言う春にしたいものです。

<会長 調 漸>

～今大切な事！「心づかい」と「前向きな姿勢」～

今年は、桜の開花が早く、木々の新緑も、例年以上に早く、鮮やかさを増しています。地球規模の気候変動が言われながら、季節ごとに「生命」の輝きを見せる「自然の営み」に、私たちは、「困難」は、必ず「克服」出来るという「希望」も、示してもらっている気がします。昨年度は、「コロナ」の影響で、音楽団体や音楽家の皆さんが関わるコンサート、イベントが、ほとんど中止になりました。

しかし、今年3月以降は、特に地元長崎の感染状況が改善したことを受けて、新年度は、各音楽団体なども、去年中止になった行事も含めて、今年は、「感染対策」を、しっかり対応したうえで、開催する方向で、検討、準備が行われているようです。まだ今後の事は、予断は許しませんが、当面は、「状況」を踏まえた、きめ細かい「心づかい」が大切だと思っています。

ところで、今年は、「長崎開港450周年」ということで、長崎市では、様々な記念行事が開催されます。

長崎交響楽団は、「長崎開港400年」事業の1つとして誕生した経緯もあり、4月27日の記念式典（ブリックホール）では、小編成ながら演奏する事になっています。その他、「長崎」「港」「海」「未来」などをテーマとしたコンサートの企画、開催も、幾つかの団体が予定しているようです。

また長崎県は、このほど、4年後の2025年（令和7年）に、「国民文化祭」を長崎県で開催したいという意向を、正式に表明しました。長崎にとっては、かつてない「文化行事」ですから、私たちも、前向きに捉えて、行政とも連携しながら、機運を高めていきたいものです。

<理事長 河野英雄>